

松沢求策と自由民権運動

16. 7. 14

★ はじめに

今年は、18歳選挙権（普選の拡大）と拾ヶ堰開削200年（「安曇野」の出発）
松沢求策 立憲国家（憲法・国会・政党） 堰守（20歳）→民権家

白井吉見：白面の農村青年が、驚くばかり急速に、時代と社会に目をひらき、国家的な課題の所在と解決の方向とを敏感に受け取って、すぐさま実践に赴いたところに僕は強い関心を寄せる。

顕彰の流れ 昭和49年『鑄鐵の民権—松沢求策の生涯』発刊→顕彰会の誕生・活動
数々の成果（演劇・スライド・胸像モニュメント・偲ぶ集い・資料展示会・資料集・子供向け本・関係資料の文化財指定など）→会員の高齢化と共に低調化
今回 生家・若松屋を拠点に松沢求策ライオンクラブ誕生 今年11月5日「わたちの松沢求策」の上演 スライドのDVD化の上映

★ 生い立ちと民権家へのあゆみ（1855—87 32歳）

安政2. 6. 15 安曇野市穂高等々力町の中農の長男に生まれる。

鎖国から開国へ、そして明治維新、自由民権運動へと 動乱の落し子

「条約改正」

天皇制官権国家 vs 天皇制民権国家

「日本国・臣民」

「日本国民」「個人」

中央集権化

「国会開設」

堰守（20歳）→民権家

庶民生活の

苦悩実感

武居用拙塾入塾→長野県の国会開設結社・英匡社→明治13～14年全国的国会開設
運動展開 松沢はその先頭に立って運動をリード

★ 松沢らの運動の特徴

請願権に基づく生活改善要求運動（武居塾での加助顕彰運動の発展）

↓

乞願権

「民権鑑嘉助面影」 上下利益論・君民共治論 vs 土佐の共和制・革命論

「国会開設請願書」 請願 vs 建白

明治14年10月 国会開設の勅諭 運動の一部成功 条約改正・独立・立憲国家

大日本帝国憲法 天皇主権 制限選挙 請願権規定